

平成 19 年度採択文部科学省 現代G P = 「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」
学生による地域活性化提案プログラム
—政策対応型専門人材の育成—

平成 21 年度 活動報告書 第 I 部

地域活性化G P 成果報告 目次

まえがき

第 1 章 現代G P プログラムの概要と平成21年度（選定3年目）の経過	1
1.1 現代G P プログラムの概要	1
1.2 平成21年度の経過	4
1.3 平成21年度の地域活性化G P 取組ゼミ	5
1.4 平成21年度の推進体制	5
第 2 章 地域活性化G P の内容と成果	7
2.1 地域連携アドバイザー（長岡市等の担当者）との協力	7
2.2 資料収集・分析法の学習	7
2.3 学生による資料収集	7
2.4 学生による資料分析	7
2.5 調査研究ポイントの整理	8
2.6 地域連携アドバイザー（関係団体の職員等）の委嘱・レクチャー	8
2.7 ヒアリングないしはアンケートの実施	8
2.8 フィールド調査のまとめ	8
2.9 提言の作成	8
2.10 プレゼンテーション資料の作成	8
2.11 成果発表会の実施	9
2.12 最終報告書の作成	9
2.13 設備備品の充実	9
2.14 プログラム推進協議会の開催	9
2.15 取組に関する学内外への情報発信	9
2.16 補助事業関連業務体制の強化	10
2.17 教授法の開発・整備	10
第 3 章 取組の進め方に関する事例集	11
3.1 『ユニバーサル社会をめざして —バリアフリーのまちづくり—』：菊池ゼミのケース	11
3.2 『市民のごみの減量とリサイクルの推進』：石川ゼミのケース	17
3.3 『長岡周辺地域における健康管理と予防医療の現状』：山川ゼミのケース	22
3.4 『長岡まつり大花火大会による地域活性化方策』：岡野ゼミのケース	27

3.5 『強小企業城下町、長岡を目指すー諏訪・岡谷、高岡、三条・燕 にあって長岡に無いものー』：権ゼミのケース	32
3.6 『地域コミュニティを中心とした安全・安心を考える』：高橋ゼミのケース	34
3.7 『長岡市における特産品の東京市場販売計画 ー長岡を売り込み首都圏とつなぐー』：田邊ゼミのケース	39
3.8 『長岡市における先進的多文化共生社会の 実現に向けて』：広田ゼミのケース	43
3.9 『環境負荷が軽減されたまちづくりー京都議定書とCO ₂ 排出量取引から 学んだこととゼミ生の活動日記』：吉盛ゼミのケース	48
3.10 『市民参加型地域づくりを考える ー「まちの駅」をモデルケースとしてー』：鯉江ゼミのケース	52
第4章 本取組における学生教育の評価	57
4.1 社会人基礎力の評価	57
4.2 ビジネス展開能力の評価	67
4.3 専門的技法等の評価	70
第5章 取組結果のまとめ	70
5.1 取組成果と今後の課題	70
5.2 取組結果の概要	71
卷末参考資料	
1 平成19年度現代的教育二一ズ 取組支援プログラム選定取組の概要及び選定理由	82
2 長岡市総合計画基本構想の構成図	83
3 長岡市総合計画前期基本計画における施策の体系	84
4 取組の具体的進め方イメージ	85
5 学生による地域活性化提案プログラムー平成20年度取組一覧ー	86
6 平成21年度 地域活性化GPプログラム中間発表会	91
7 平成21年度長岡大学地域活性化GP成果発表会（パンフレット）	93
8 平成21年度 地域活性化GPプログラム成果発表会	95
9 社会人基礎力育成グランプリ2010東日本予選大会	97
10 大学教育改革プログラム合同フォーラムポスターセッション（ポスター）	98
11 大学教育改革プログラム合同フォーラムポスターセッション	101
12 社会人基礎力診断シート（学生用）	102
13 社会人基礎力診断シート（教員用）	103
14 「地域活性化GPプログラム成果発表会」意見シート	104